



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ
2015～2016年度

会報

恐れず改革、フレッシュな25周年クラブを！



2016. 02. 03 第1178回例会 No. 26-26 2016. 02. 10発行

◎司会 SAA・親睦委員会 三田みよ子

◎点鐘 会長 宮本 誠

◎国歌「君が代」斉唱

◎ロータリーソング「我等の生業」

ソングリーダー 吉沢 洋景 会員

「四つのテスト」の唱和

米山奨学生 スラミニットクン、ノピパット君

◎お客様紹介

会長 宮本 誠

岡山西南RC

椎原 裕二様

米山奨学生

スラミニットクン、ノピパット君

卓話講師(株)としまフューネス代表 林田 敏誠様

◎会務報告

会長 宮本 誠

例会後、定例理事会を開催します。

i シティーRCの5周年記念式典の出欠表が回りますが、当クラブの25周年には、多数の方がお見えになって頂きましたので、こちらからも多くの方の出席をお願い致します。

◎幹事報告

幹事 入沢 修自

配布：会報、ロータリーの友2月号、米山と財団への寄付された方には申告用領収証、抜粋の綴り、卓話資料

回覧：ソウルでの「第17回ロータリー国際囲碁大会」の案内、東京グローバルRCより3/3(木)国際文化会館講堂において「TPP協定の大筋合意と日本」講師：鶴岡公二様(政府代表首席交渉官)の卓話案内、2016-17年度版ロータリー手帳注文のお願い、i シティーRC5周年記念式典の出席確認

幹事変更：東京城南RC

その他：理事会で承認された2名の候補者について、会員の皆様からの異議はありませんでした

◎次年度会務報告

会長エレクト 小泉 博

*第2回被選理事会の開催を財団セミナーと重なっている為、2/10→翌週2/17例会後に変更となります

*次年度の組織編成を行っています。少ない会員の中で苦勞しています、お声がかかりましたら「はいわかりました!」ということでご協力下さい。

◎奨学金授与

スラミニットクン、ノピパット君

会長 宮本 誠

《ノピ君から一言》



次回で最後になるかもしれませんが、皆さんにお礼を言います。そのときには、皆さんにお礼のお土産をもってきます。

四つのテストの唱和は緊張して早口になりました、次回は勉強してきます。

【 諸事報告 】

★健幸甲子園について

田村 豊会員

1/24(土)聖蹟桜ヶ丘ヴィータホールで行いました。ご参加頂いた方はありがとうございました。今後も毎年継続発展させていきたいと思ひます。皆様方の事業所で参加するご意思のある方がありましたら早めにお申出下さい。



◎出席報告

出席奨励委員長 田崎 博実

会員総数	29名
出席義務免除者	7名
出席者数	出席義務者 16名
	出席免除者 7名
計	23名

出席率 23/29 = 79.31%
第1176回例会(1/13)訂正出席率86.21%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 関岡 俊二

宮本 誠 林田さんようこそ。一日も早い入会をお待ちしています。
今日の卓話も楽しみです。
入沢 修自 梅の花が香っていました。
足立潤三郎 インフルエンザがはやっているそうです、体調管理に気を付けて下さい。
遠藤 二郎 林田様卓話宜しくお願ひします。
大松 誠二 林田さま、ようこそ 一緒によろしくお願ひします。
萩生田政由 林田様 卓話楽しみです。
伊澤ケイ子 毎日寒いですネ。
林田様卓話楽しみです。
小泉 博 お客さまようこそ。 林田様ようこそ いらっしやいました。
宮村 宏 福は内で 会員増強お願ひします。
森本 由美 今日は節分。福は内でお願ひしたいです。
林田さま、卓話よろしくお願ひします。
斎藤 誠壽 節分とはいえ寒いですネ。
田村 豊 林田様ようこそ 本日はよろしくお願ひします。
田崎 博実 2月から、またがんばります。
津守 弘範 林田敏誠さん入会予定おめでとうございます。卓話楽しみにしております。
若林 克昌 林田社長 卓話楽しみにしています。宜しくお願ひします。
関岡 俊二 今日は節分 明日は立春暖かくなるといいですね。

本日の合計¥28,000 (累計¥633,868)

◎卓話者紹介 田村プログラム委員長

株式会社としまフューネス代表取締役です。
社名の由来は、お名前のとしまさんからとったそうです。葬儀社の業界は昔からのしきたりのようなものがあると聞いていますが、昨今はご葬儀をされるご家族のご意向を汲んでどうしたらよい葬儀ができるかということを精神的に支えてくれるような葬儀社が増えてきていると聞いています。その中でも大変有望な方だと認識しており、私達としまでもアクティブに活動されている若い方をお迎えできて大変 嬉しく思います。

◎卓話「最近の葬儀事情、自己紹介を兼ねて」

(株)としまフューネス林田敏誠代表
核家族の影響により葬儀を見直す時代となりました。また、



た、ITの普及や異業種からの葬儀業界参入等により、葬儀全体の形態が変わりつつあります。葬儀社主体の進进行を根絶すべく、ご家族が中心となり最期の大切な時間を様々なカタチで提案することを念頭に日々精進しております。創業以来、葬儀費用の透明化、

高品質なサービスの提供、顧客視点でのサービスを追及し、スローガンとして～お客さまに選ばれる葬儀社を目指そう！顧客満足度120%～を理念としてやっています。ご遺族は愛する人が突然の死に直面した時にその精神的なショックは計り知れない程深く、そして受け入れにくい現実と向き合うことになります。ご遺族の「心痛」を無視するどころか足許に付け込んで商売する葬祭業者がまだまだ多いのが現状です。私は以前の葬祭事業を変革することを「社会的使命」として1人でも多くの方々に「いいお葬式だったね、有難う」と思ってもらえるような葬送サービスを行っていきたくと望んでおります。

～事業内容～

・葬儀葬祭事業、一般貨物(霊柩)自動車運送事業、仏壇仏具販売事業、墓所墓石販売事業、地域交流事業など

～最近の葬儀事情～

人生の終わりとなる儀式は儀礼的」に分類すると大きく2つに分けることができる

- 1、通夜・告別式を執り行う一般的な「お葬式」
 - 2、火葬までに必要な最低限の付帯品のみで執り行う「直葬」・・・故人の意思、家族の希望など
- その他、高齢かつ身寄りがない、生活保護 受給者等で葬祭費の受給を市区町村から受ける「福祉葬」

～増加する「福祉葬」における葬儀社の役割～

- ・2015年以降に死亡者数・・・今後約20年間 増加傾向にむかっている
 - ・2010年に高齢者人口の約3割を占めていた1人暮らしの高齢者が2035年には約4割に増加する見込
- 1人暮らしの高齢者が、誰にも看取られず亡くなる結果的に「福祉葬」の増加が予想される

福祉葬は、各市区町村で支給額が決められており、身元判明まで保冷庫等で安置する費用までは請求できません。故人がどのような人生を歩み、何故このような最期になったのか？知る由もありません。唯一言えることは、人生を全うした最期を見届け、送り出すのは葬儀社しかいないということです。また、お見送りのない福祉葬であっても故人を悼む想いに違いはなく、敬意を払う必要があります。死に携わる者としてどのような環境であっても故人を見届け、そして送り出す。そんな存在(葬儀社)であるべきだと考えております。

*****林田様 色々 答えにくいような難問にも丁寧にお答え頂き ありがとうございます。入会を心よりお待ちしております*****

◎お礼と閉会点鐘

会長 宮本 誠

(今週の担当 小泉 博)